

不動産Social Mediaの正体をつかみ、戦略的に使いこなせ！

2009年夏。いま米国の不動産（リアルター）業界では、Social Technologies（拡大する〔Media〕、簡単になってきた〔System・Tool〕、人と人が繋がっていく〔Network〕など）によるWebサイトの展開に改革のGroundswell（大波）が押し寄せようとしている。

この動きは、5 - 6月の主なものだけでも以下のように急だ！

09年5月 / NARとCentury21がソーシャル・メディアで包括的なOnline提携（Social Media街道をひた走る2大巨人・Two Giants NAR / Century21の姿を追う！Coldwell Bankerも最大限活用へ）

不動産サイトの老舗 / 米国『RealEstate.com』もソーシャルNetに対応（6月12日ニュースリリース）

新登場 / これが米国の『TweetLister』不動産物件サイトだ！（5月にラウンチされたばかりのサイトでありながら、「不動産ブローカーはTweetListerを使用べきなのではないか」という議論が早くも巻き上がっている）

ところで、私の米国Watchingは2大Onlineマガジン（『Inman News』、『RISMedia』）の購読とGoogleアラート（設定テーマのおしらせRSS）などによって、チェックの時間さえとれば、Web上の翻訳サービスも充実してきているので比較的簡単に進む。

そして、日本語にしたニュースのサマリーをBlogで発信していくことは、さほど重荷にはならない。

しかし、その全体像を伝えるとなると、BlogはタイムLine的な情報伝達には役立っても、まとめた記事となると、時間的にもなかなか難しいものがある。

そこで、ブログに短い記事をプールして行って、『不動産業戦略e-REVIEW』の読者の皆様には、本誌記事として詳細をお伝えするのがベターな方法となる。

そこで、まとまったのが、今号の3本の記事（以下にタイトルを紹介）である。

〔不動産プラットフォーム〕転換の節目は、いまだどこにあるのか！

米国では Agentが“不動産コミュニティ”に続々と結集！

FDJ社特別レポート / これが、米国で爆発・実装が相次ぐ不動産ソーシャル・メディアの現状だ。

皆様におかれましては、「ブログでサマリー読んだよ」と言われることなく、いまこそSocial Technologiesの正体をつかみ、戦略的に使いこなせるようにして行って下さい。

また、についてはFDJ社では、「わが国における展開（活用）の可能性について」をとりまとめ中ですので、7月のリリースにご期待下さい。